

みらい図書だより

発行：東京未来大学図書館

〒120-0023 東京都足立区千住曙町 34-12 TEL：03-5813-2540 (内線 1202) FAX：03-5813-2529
URL：http://www.tokyoumirai.ac.jp//library/ 印刷：上武印刷株式会社

図書館と私

心理専攻 副専攻長 坪井 寿子

みなさんはどのようなときに図書館に行きますか。図書館でどのように過ごしますか。さまざまな情報がネットで検索できる現在、図書館に足を運ぶことは少なくなってきたかもしれません。ただ、そこには偶然の出会いもあり、いろいろ楽しめる一面もあります。ここ未来大学の図書館は静かで落ち着いていておすすめです。ぶらりと立ち寄って、気になった本をパラパラとページを開き「今・ここ」を超えてさまざまな思いを馳せていく時間は、楽しくリラックスしたものになっています。資料を収集するために図書館に行っても誘惑に負けてさまざまな本をめくって過ごすこともあります。

図書館に関して、先日見たテレビドラマでこんな場面がありました。図書館で本を借りると司書さんが「待っているね」と声をかけるのです。本屋の場合には買う時だけの一度きりのやりとりですが、図書館で本を借りる場合にはもう一度返却の場面があるというものです。「またどうぞ」といった意味にもなるのでしょうか。本屋と図書館を少し比べると、本屋は主に新しい本になりますが、図書館は古い本も充実しています。図書館ではじっくり

とページをめくることができますが、本屋は購入が目的なのでゆっくりとはできません。最近では、書籍ネット注文が多く「試し読み」でパラパラと読めるようになっていきます。一方で、本屋で本を買うとそのあと自由に書き込んだりできますが、値段のこともあってあれこれと買うわけにもいきません。図書館の本は書き込むことはできませんが、じっくりと読みたい本を気軽に借りることができます。読んでみて少し違ったなと思うことがあるかもしれません。その時は返却して別の読みたい本を借りればよく、あれこれ試すことができます。図書館は待っていてくれます。

このように図書館では、思いがけない出会いもあります。例えば国内や世界各地の自然や歴史・文化に触れることもあります。個人では購入できない大型図鑑をパラパラとめくると小旅行に行った気分にもなります。図鑑によっては宇宙旅行も夢ではないかもしれません。

学生のみみなさんも、時間があつたらぶらりと図書館（ライブラリー）に足を運んでみてください。ゆったりとした時間を過ごすには学内での最適な空間と言えるでしょう。



子どもたちの読書活動の現状

保育・教職センター 小山 勉

昨年3月、文部科学省から第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が示されました。児童生徒の不読率が、これまで同様、課題として挙げられています。そのため、読書好きな児童生徒を育もうと、読書活動を校長の学校経営計画に位置づけ、朝読書やブックトーク、ビブリオバトルなどの本と出会う取組を積極的に取り入れている学校が増えています。幼稚園・保育園では、絵本を使った読み聞かせがどの園でも行われています。親子で同じ本を読み感想を共有し合う家読（うちどく）を推奨している学校・園もあります。

また、第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、子どもの読書への関心を高める取組として、「まわし読み新聞」が新たに例示されました。「まわし読み新聞」はグループになった児童生徒が同じ新聞を読み回し、自分たち独自視点の新聞を作るという取組です。各自が気になる記事を新聞から切り取り、なぜその記事が気になったのかをプレゼンし、みんなでトップ記事を決めた後、それらの記事を適当な位置に貼って自分たちの新聞を作り上げます。この取組がビブリオバトルへと繋がっていくことも期待できます。

しかしながら、コロナ禍のためGIGAスクール構想が早まり児童生徒に一人一台タブレットPCが配布されると、学校経営の重点がタブレットPCに移っていることも事実です。朝読書がタブレットPCでの朝学習に置き換わり、調べ学習は本以上にタブレットPCで行っている学校が多いです。それもタブレットPCが落ち着くまでのこと。その後は読書活動の重要性が再認識されることと思われます。学習指導要領に読書活動が明示されていることもありますが、全国学力・学習状況調査の国語と算数（数学）の得点と、本が好きな児童生徒と好きではない児童生徒とのクロス集計の結果では、どちらの教科でも大きな開きがあることが分かります。

今後、各学校では、電子書籍での読書も始まるでしょう。電子書籍にはタブレットPCさえあればいつでも手軽に読書ができるという良さがありますが、紙の書籍にも空間認識ができる、拾い読みができるなどの電子書籍にはない良さがあります。これらのことを踏まえ、今後の読書活動では、児童生徒の発達段階を考慮し、紙とデジタル両方を上手に活用しながら推進していくことが肝要だと思われます。

絵本あれこれ

実習で印象に残った絵本『へんしんマジック』

こども保育・教育専攻4年 平島 美海

私は実習で様々な絵本の読み聞かせを行いました。その中でも特に印象に残っている絵本は、初めて指導案を書いた、あきやまだしさんの『へんしんマジック』です。この絵本は、言葉遊びが楽しめる絵本となっており、私も、その言葉遊びと絵の描写が面白くて、好きになりました。



『へんしんマジック』
(あきやまだし作・
絵 金の星社、2008)

実習では、クラスの子どもの姿をよく観察し、どう読んでいったら子どもたちの興味が惹かれるか、言葉遊びを楽しめるかを考え、何度も絵本を読み返して練習を行いました。本番は、子どもたちの反応を見ながら、一緒に繰り返し呪文を唱えて、マジックの過程を楽しみました。子どもの笑顔や言葉をくり返す姿を見て、少しでもこの絵本や言葉遊びに興味を持ってもらえてとても嬉しかったです。

選書ツアー報告

私の推し

7月23日(火)に丸善・丸の内本店オアソにて、選書ツアーを実施しました。選書ツアーとは、学生の皆さんが図書館に置いて欲しいと思う本を自ら書店で選ぶイベントです。6名の学生が参加しました。ツアーに参加した坂本さん、岩本さん自らが選んだ本の内、皆さんにお勧めの本を紹介してくれています。

心理専攻2年 坂本 七海

私の推しは『WIND BREAKER』です。この漫画が出た当初から知り合いに紹介し続けてきて、遂に今年アニメ放送されたばかりの話題作です。

この物語は、ケンカをすることで自己の存在証明を続けて生きてきた主人公の桜が、不良が集う「風鈴高校」でトップンを取るために入学し、友との出会いを通して成長していくハートウォーミングストーリーです。また、キャラクター一人ひとりが自我を持っていると感じられるようなリアリティが“ウインブレ”の魅力の一つです。

ヤンキー漫画と一括りにするには惜しい程、人間模様が繊細に描かれた名作ですのでぜひ一度手に取って、心温まるひとときを過ごしてみたいはいかがでしょうか。

モチベーション行動科学部4年 岩本 碧泉

今回私が紹介する本は、アニメ化や映画化で話題の『呪術廻戦』です。この作品には、多くの魅力的なキャラクターが登場するだけでなく、彼らが織り成す呪いにまつわるストーリーはまさにダークファンタジーという言葉がピッタリな内容になっています。また、キャラクター同士の関係性も一癖



機材の説明をきく参加者
丸善・丸の内本店にて

二癖があります。そのため、話を読み進める程、感情がめちゃくちゃになること間違いなしです。

今回は『呪術廻戦』を紹介させて頂きましたが、今回の選書ツアーでは、大学に既に蔵書がある作品の続きや、

おすすめの1冊

先生方おすすめの1冊を紹介します！

● 鈴木 公啓先生 (こども心理学部心理専攻)

『バッタを倒しにアフリカへ』前野ウルド浩太郎、光文社 (2017)

最近、研究や授業準備に関連する書籍しか手にしておらず、非常によろしくない状況である。そんな時にこの執筆依頼。どうしたものかと困っていたが、国際会議に向かう飛行機の中の時間を使って、積読であったこの本を読むことにした。事前の情報どおり、若い研究者(著者)の研究人生における悲喜こももどと生き方が軽快な語り口で語られ、とても面白い。そしてそこからは、本気で取り組むことの凄さや大切さも伝わってくる。困難に対して助けてくれる素晴らしい人たちがいる。しかしそれは、著者が真に困難に立ち向かい、挫折し、それでも立ち上がり立ち向かい続けたからこそといえる。多くの人に手にとって欲しいと思える一冊。



● 高橋 純一先生 (こども心理学部こども保育・教育専攻)

『自己をひらく―「個別最適な学び」「協働的な学び」を育む学校文化と授業』富山市立堀川小学校、明治図書出版 (2024)

近年教育界において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的実現が提唱されている。この教育理念を、早くから取り入れ実践している堀川小学校の実践事例が紹介されている。特色は、授業における子どもの学びの姿で書かれている点である。子どもがどんな願いや思いをもって歩んでいるのか、日々成長しようとする子どもの姿から学ぶことが多い。また、一人ひとりの子どもを理解しようとする教師の姿勢や教師集団にも触れられていることから、特に教員を目指す学生にとって、沢山の示唆が得られる書籍である。子どもが自分らしさを発揮し、自ら可能性を拓く姿に感動した。今後も学校現場において、子どもたちの花の咲いたような笑顔あふれる実践が蓄積されることを願うばかりである。

「SAKAMOTO DAYS」、「うちの弟どもがすみません」などのコミック作品を多く選書させて頂きました。少しでも興味を持っていただけた方は、ぜひ図書館の選書ツアーのコーナーに来ていただけると嬉しいです。

著者に
聞いてみました。

新刊紹介

2024

今井 康晴先生 (こども心理学部こども保育・教育専攻)

『保育と教育の方法と技術』【単著】(大学図書出版、2024)

本書は、「保育と教育の方法と技術」に関する基本的な知識、教養の習熟を目的としています。保育者、教育者を目指す学生もさることながら、確認して確実な知識としたい現職の先生も対象としています。本書の構成は、先人の示した教育方法、幼稚園教育要領、保育所保育指針と学習指導要領の変遷などの基本的事項に触れつつ、「主体的・対話的で深い学び」「教職課程コアカリキュラム」「ICTを活用した教育」など現代教育の主題についても扱っています。これまでの学校教育のなかで、「つまらない授業」「退屈な授業」に少なからず遭遇したかと思います。それは内容ではなく、「方法」が面白くなかったのかもしれませんが。そうしたことに興味、関心のある皆さんにぜひ手に取っていただければと思います。

岩井 真澄先生 (こども心理学部こども保育・教育専攻)

『ICT×保育を考える 保育内容総論』【共著】(建帛社、2024)

本書は、保育実践でのICT機器活用の可能性を考えた「保育内容総論」のテキストです。情報社会が進展する中、ICTは保育の質を向上させ、子ども一人ひとりにきめ細やかに対応するために欠かせないツールとなっています。前半の「理論編」では、保育内容に関する基本的事項を学び、後半の「実践編」では、園の一日の流れに沿った保育実践の事例をICT機器の活用例とともに学ぶことができます。QRコードを読み取ることで実際の保育室や園庭の環境を360度カメラの映像で見ることができたり、必要な情報にすぐにアクセスした

りできることも本書の特徴です。未来の保育を担う皆さんが、本書を通して視野を広げ、より豊かな保育の内容や方法を考えるきっかけとなれば幸いです。

白石 雅紀先生 (こども心理学部こども保育・教育専攻)

『SOGI Minority and School Life in Asian Contexts: Beyond Bullying and Conflict Toward Inter-Minority Empathy』【共著】(Routledge、2023)

本書はアジア太平洋地域におけるLGBTQ+当事者の児童生徒の学校生活における経験をもとに、インターセクショナル리티の観点から、不可視化されがちなマイノリティの諸問題について論じています。白石は第11章のInter-minority Conflict In Japanese Contextを大阪教育大学の戸田有一先生との共著で執筆しました。11章で提示した「マイノリティ集団間の相克関係 (Inter-minority Conflict)」と鳴門教育大学の葛西真紀子先生が12章で提示した「マイノリティ共感 (Inter-minority Empathy)」は国際的にも新しい概念で、マイノリティ問題の理解に役立ちます。英文ですが、ぜひご一読ください。

石橋 里美先生 (モチベーション行動科学部)

『モチベーションの心理学 (現代に生きる心理学ライブラリ) 一困難を希望に変える心理学7-1』【共著】(サイエンス社、2023)

本書は、仕事へのモチベーション (ワーク・モチベーション) を中心に、モチベーションの概念や生成メカニズム、関連する主要な理論や研究を学ぶことを目的に構成されています。まず、モチベーションがどのような現象としてとらえられ、どのように研究がすすめられてきたのかを解説します。次に、モチベーションという現象を理解するための基本点な知識として、行動の背景となる欲求についての理論や研究を紹介します。最後に、リーダーシップや組織コミットメント、キャリア形成といった、組織行動の中で実践に活用されてきた研究について解説します。社会で必要とされる「他者や組織の健康な発展に貢献するモチベーション」の本質を学びましょう！

● 森下 一成先生 (モチベーション行動科学部)

『失敗の本質—日本軍の組織論的研究』戸部良一・寺本義也・鎌田伸一・杉之尾孝生・村井友秀・野中郁次郎、中央公論新社 (1991)

日本の組織運営の課題を深く探る一冊です。第二次世界大戦での日本軍の失敗を分析し、組織の意思決定やリーダーシップ、文化の影響を考察しています。大学生にとって、本書は歴史を通じて組織の本質を学ぶ貴重な教材です。固定観念にとらわれず、柔軟に考え、失敗から学ぶことの重要性を説いており、これから社会に出る学生にとって、自身のキャリア形成やチームでの働き方において大いに役立つ内容です。現代の複雑な社会において、変化に対応する力を養うための知見が詰まった一冊として、ぜひ手に取ってみてください。

● 岡本 彩佳先生 (エンrollment・マネジメント局)

『バナナの魅力を100文字で伝えてください—誰でも身につく36の伝わる法則』柿内尚文編、かんき出版 (2021)

この本では、伝えたいことが相手に正しく伝わるための方法が書かれています。例えば、仕事の中で「伝えたのにやってくれなかった。」はよく起こるコミュニケーションエラーの一つです。また、現代のネット社会では、文字のみで伝えることで、自分の意図とは違う伝わり方をすることが多く見受けられます。本の中では、そのようなエラーを起こさずに快適なコミュニケーションを取るための「伝わる伝え方」が例え話を含めて書かれており、「伝える」ではなく、「伝わる」を意識することが大事だと気付かされる一冊です。



 **電子書籍アクセスランキング** (2024/1/1 ~ 8/31)

順位	書名／著者名、出版社、出版年	登録番号
1位	週刊東洋経済 第7174号 (2024年5月18日) / 東洋経済新報社、2024	ET0007174
2位	逃避型ネット依存の社会心理 / 大野志郎、勁草書房、2020	e00000343
2位	週刊東洋経済 第7110号 (2023年5月6日)「合併特大号」 / 東洋経済新報社、2023	ET0007110
2位	週刊東洋経済 第7143号 (2023年11月4日) / 東洋経済新報社、2023	ET0007143
2位	週刊東洋経済 第7164号 (2024年3月23日) / 東洋経済新報社、2024	ET0007164
2位	週刊東洋経済 第7170号 (2024年5月4日)「合併号」 / 東洋経済新報社、2024	ET0007170
2位	週刊東洋経済 第7175号 (2024年5月25日) / 東洋経済新報社、2024	ET0007175

 **図書貸し出しランキング** (2024/1/1 ~ 8/31)

順位	書名／著者名、出版社、出版年	請求記号
1位	はらべこあおむし ビッグブック / エリック＝カールさく もりひさしやく、偕成社、1994	B726.6/CA
1位	11の間取り図 変な家 / 雨穴、飛鳥新社、2023	913.6/UK/2
1位	へんしんトンネル 新しいえほん / あきやただし作・絵、金の星社、2002	726.6/AK
1位	幼稚園教育要領解説 平成30年3月 / 文部科学省、フレーベル館、2018	376.15/MO/a
5位	おべんとうバス / 真珠まりこ、ひさかたチャイルド、2006	726.6/SH
5位	おまえうまそうだな 絵本の時間 / 宮西達也、ポプラ社、2003	726.6/MI/1
5位	もったいないばあさん 講談社の創作絵本 / 真珠まりこ、講談社、2004	726.6/SH
5位	しろくまちゃんのほっとけーき こぐまちゃんえほん / わかやまけん、こぐま社、1972	726.6/WA
5位	PAC分析実施法入門 「個」を科学する新技法への招待 / 内藤哲雄、ナカニシヤ出版、2002	140.7/NA

～請求番号を載せましたので、興味のある方は是非お読みください。～

図書館からのお知らせ

▶ ボローニャ世界の絵本展「アンデルセン童話の世界」

日時：10月24日（木）～11月29日（金）

図書館開館時間内（最終日は12：00まで）

ボローニャ世界の絵本展を開催いたします。展示している世界の絵本は、イタリアのボローニャ市から友好都市である板橋区に寄贈されたものです。今年は「人魚姫」や「おやゆび姫」など、アンデルセンの絵本を展示します。世界各国から集まった絵本をぜひ手にとってご覧ください。

▶ 絵本作家・シンガーソングライター

中川ひろたかさん講演会「ぼくの作った歌と絵本」

日時：11月20日（水）、13：10～14：50

場所：東京未来大学

（詳細はポスターにて掲示します）

絵本『さつまのおいも』『おおきくなるっていいこと』、歌「みんなともだち」「世界中のこどもたちが」など、数多くの絵本や歌を生み出した中川ひろたかさんが、自作の絵本や歌を披露しながら作品について語ります。



『さつまのおいも』（中川ひろたか文・村上康成絵 童心社、1995）

編集後記

まだコロナの影響が完全に過ぎ去ったわけではありませんが、昨年度から図書館の閉館時間が20時に戻るなど、図書館の機能が回復しつつあります。とりわけ大学においては、図書館は研究・教育の核となる施設です。皆さん、ぜひ図書館に足を運んでいただき、充実した学生生活を送っていただければと思います。発行にあたり、ご協力をいただきました皆様には、改めて御礼を申し上げます。

(T & Y)